

市民活動センター あやせよりお知らせ

■団体登録情報が更新されました

4月1日より、当センターに登録している団体情報が更新されました。登録団体のみならず、更新の手続きにご対応いただきありがとうございます。新規登録については随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

■第14回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラムについて

公益的な市民活動団体にパソコンを寄贈する、かながわイーパーツリユース PC 寄贈事業の第14回プログラムが行われます。予定されている日程は以下のとおり。詳細については当センターにお問い合わせください。

募集期間：6月30日（金）まで

審査会：7月18日（火）

贈呈式：8月26日（土）茅ヶ崎市役所本庁舎内

■「春のチャレンジボランティア体験」報告

3月19日～4月8日に実施した13事業のボランティア体験には、57名（一般2名、高校生55名）の参加がありました。参加者からは「貴重な体験ができた」「綾瀬のためにこれからもがんばってほしい」「また参加したい」といった声が寄せられました。受け入れ団体のみならず、ご協力ありがとうございました。

■「夏のチャレンジボランティア体験」 受け入れ団体募集

市民・学生の方に市民活動団体でボランティア活動をしてもらう、夏のボランティア体験を実施予定です。現在受け入れ団体を募集していますので、希望される団体は下記条件をご確認のうえ当センターまでご連絡ください。

受け入れ条件：当センターの登録団体で、7月20日頃～9月10日頃に実施する事業（1団体で複数の受け入れも可）

受け入れ団体募集期間：5月25日（木）まで

■市民活動交流カフェ「市民協働事業・きらめき補助金事業報告会」開催のお知らせ

平成28年度に市民協働事業を行った4事業、きらめき補助金の交付を受けた5団体の事業成果を報告する市民活動交流カフェを6月に開催します。事業を実施した団体や市職員、各事業審査委員をお招きして意見交換を行う場となりますので、市民活動に興味のある方はぜひご参加ください。詳細は以下のとおり。

日時：6月3日（土）14：00～

場所：市役所314、315会議室

対象：市民活動団体所属の方、
市内在住または在勤、在学している方

定員：30名

参加費：200円

■パソコン&ポスタープリンター講習会

毎月最終土曜日、パソコンの基礎的な操作や当センターにあるポスタープリンターの利用方法の講習会を開催します。

日時：5月27日、6月24日、7月29日
（いずれも14：00～16：00）

対象：登録団体の所属、もしくは公益活動をしている方

定員：5名（要予約、毎月2日から受付）

参加費：100円

場所：市民活動センターあやせ

※パソコン講習、ポスタープリンター講習を同日開催します。両講習合わせて5名の定員となっており、両方への参加はできません。

市民活動センターあやせ

〒252-1103 綾瀬市深谷 3838 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9：00～22：00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

登録団体数：136団体（2017年05月現在）

※ホームページもあります。
「市民活動センターあやせ」で検索してください。



2017年(平成29年)5月 第43号(年4回発行)



緑薫る地域の自然を満喫しよう — 豊かな環境を保全する綾瀬の取り組み —

綾瀬市は住宅地の中にも多くの自然があり、それが魅力の1つにもなっています。

今回は、その自然の保全に取り組む市民活動団体を紹介します。

緑鮮やかなこの時期に、身近な自然を体感してみたいはいかがでしょうか。

野草が豊かに育つ自然を保全

落合キツツキの森管理委員会

2005年に発足した落合キツツキの森管理委員会は、落合8・9丁目にある落合キツツキの森の整備から活動をスタートし、その後、落合北1丁目の取内の森、上土棚南6丁目の野あざみの森と活動範囲を広げ、綾瀬市の環境保全に努めています。

「まだあまり知られていませんが、私たちが管理する森には、珍しい野草が多く生息しています」。そう話すのは福島國美会長。とくに豊かなのが取内の森で、春が見ごろの絶滅危惧種であるエビネやキンランを始め、ウバユリ、ウラシマソウ、キツネノカミソリ、サイハイラン、ヒトリシズク、ヤマユリなどが生息しています。



▲取内の森の草刈りをしている様子

同会では、なるべく自然のままの状態を残しつつ、会員が3つの森の草刈りや歩道の整備を定期的に



▲落合キツツキの森で開催しているサマーフェスティバルの様子

行っています。また、野草の観察会を年に2回、8月には子どもを対象としたサマーフェスティバルを落合キツツキの森で開催、市民の健康維持・増進につながる取り組みも行っています。

福島会長は「子どもの頃から森に親しんでもらい、成長したら自然への関心を持ってほしい。そのきっかけとなる場所にしていきたい」と語っていました。

みんなが楽しめる森に

長峰の森管理委員会

光綾公園の向かいにある長峰の森自然公園は、以前は草木がうっそうと茂り、自動車や自転車などが不法投棄されていた場所でした。市民の要望から整備が進められ、放置されていた60,000平方メートルの緑地は、今では多くの人に親しまれています。



▲老人会
しいたけの植菌を
している様子



▲長峰の森自然公園で行われた
サマーキャンプの様子
(写真は子どもに人気のウォータースライダー)

市の委託を受け管理をしている長峰の森管理委員会が設立されたのは2000年。「最初は怖くて人が入るような場所ではありませんでした。3年ほどかけて枝打ちや遊歩道の整備をしました」と内藤英雄会長は当時を振り返ります。

17年経った現在、朝晩には全長1 km 以上になる遊歩道を散歩する高齢者の姿がみられ、保育園や幼稚園に寄付しているカブトムシの養殖や、老人会によるシイタケ栽培も実施されています。花好きのグループが花壇づくりを、管理棟ではバードカービングのグループが創作活動を、毎年夏には綾瀬青年会議所がサマーキャンプを開催するなど、多くの団体の活動拠点にもなっています。

内藤会長は「これからもいろいろな団体に森を使ってもらえるよう、活動を続けていきたい。まちの財産として、ずっと残っていけばいいですね」と話していました。

地元愛を込めて公園を整備

山崎地区綾南公園愛護会

蓼川を挟んで東西に広がる綾南公園は、東側に大型複合遊具や水遊びができる綾南の滝、西側にはバーベキューができる炊事棟、多目的広場、健康遊具があり、世代を問わず利用されています。

2007年に結成された山崎地区綾南愛護会は、蓼川と落合キツツキの森に挟まれた西側エリアの整備を行っている団体です。井上輝元会長は、このエリアを「こじんまりとしているながらも開放感があり、自然に囲まれた落ち着いた場所です」と説明します。

同会は地域住民で組織され、毎月2回、清掃や除草作業、花壇の植え込み作業などを行っています。会員個々では、施設の破損等の確認や、遊びに来る子どもたちがケガをしないよう声掛けをするなど、できる範囲で公園の見守りもしているそうです。

井上会長によると、市外から足を運ぶ利用者も多いようで、「作業をしていると、市外の方からも、『きれいな公園ですね』と声をかけられます。うれしいことですし、やる気も出ます。これからも喜んでもらえるよう、愛着のあるこの公園をきれいにしていきたい」と語っていました。



▲綾南公園の花壇の植え込みをしている様子



▲高校生ボランティアと活動したときの様子

取材を通して、当たり前にも思える環境が多くの方の努力によって維持されていることを再認識しました。3団体は当センターのチャレンジボランティア体験の受け入れ団体でもあります。関心のある方は、ぜひ参加してほしいと思います。各団体については下記までお問い合わせください（掲載順）。

- ※落合キツツキの森管理委員会
0467-77-3032 (福島 国美)
- ※長峰の森管理委員会
090-1257-9113 (内藤 英雄)
- ※山崎地区綾南公園愛護会
0467-77-2968 (井上 輝元)

市民活動交流会開催

アイデア一つでまちは変わる。 知恵とネットワークによる 地域の活性化

去る3月25日、当センターの登録団体と一般市民を対象とした市民活動交流会を中央公民館3階講堂で開催しました。およそ70名が参加、綾瀬の食材を用いた料理を囲みながら親交を深めました。ここでは、神奈川県商業流通課商業まちづくりグループの鈴木博明さんをお願いした、地元の魅力・元気づくりがテーマの講演を要約して紹介します。

鈴木さんは30年以上にわたり商店街の活性化に取り組んでいます。現在、県内では1000強の商店街があり、その6割弱に空き店舗があるのが現状だそうです。「商店街の多くは、人がいなくてお金がなくてお店がない。しかし、ないものをアイデアで補えばできることがたくさんあります」と話し、その事例を取り上げました。

京急横須賀中央駅近くの若松マーケットは、細い路地にスナックやバーが並び飲食店街。店主の高齢化と空き店舗が目立ち始めたときに考案されたのが、ブランデーをジンジャーエールで割ったご当地カクテル「横須賀ブラジャー」です。昭和の雰囲気を残すレトロな街並みとともに口コミで評判が広がり、若い経営者も増え活気が戻ってきています。

日本鋼管のお膝元として賑わっていた川崎市川崎区の鋼管通商店街では、ある店主の前の商売が物々交換屋だったことから、鋼管から交換を連想し、「鋼管通ブツブツまつり」を2014年より開催。子どもたちが持ち込まれた物の目利きをし、同じ価値の物と交換できるユニークな催しで、大人から子どもまで巻き込む取り組みになっています。



市民活動交流会の様子



地域の魅力・元気づくり
をテーマに講演する鈴木博明さん

横浜市西区の藤枝地区は、座席数28席の日本一小さな映画館の開館を機に新たなシンボルと位置づけ、地域の商店とコラボしたさまざまな企画を展開。商店街のレクチャーと名画鑑賞、さつま揚げとさつま焼酎での懇親会をセットにした「今夜は名画でさつま揚げナイト!!」など、地域の店や商品そのものを資源と捉え、魅力として発信しています。

ここに紹介したのは事例の一部ですが、鈴木さんによると、高齢化している店主をやる気にさせることがポイントだそうです。「高齢者には地域で明るく楽しく生きてほしい。最後に一花、そして二花、三花と咲かせてほしい。その姿は若い世代も見てほしい、おもしろそうだと思う人も出てきます。その関わりから生まれる知恵やネットワークが新しい魅力につながっていくのではないのでしょうか」と話していました。

鈴木さんのお話は市民活動に通じる点も多いと思います。知恵とネットワークを駆使すれば、綾瀬ももっと魅力あふれる元気なまちになるのではないかと。そう思える講演でした。

今回紹介していただいた商店街の地域活性化策事例は、神奈川県産業労働局商業流通課発行の「日本人

も外国人もレッズ
ゴートウ商店街！」
に詳しく掲載されて
いますので、そちら
をご覧ください。
当センターでも
配布しています。



神奈川県産業労働局商業流通課が発行した
「日本人も外国人もレッズゴートウ商店街！」